

# 表示のチェック体制は万全ですか？

全国で、食品表示に誤りのある食品が販売される事案が発生しています。その原因の多くは、ラベルの入力ミスや、その後のチェックが不十分だった等の「ミスの連鎖」によるものです。表示のチェック体制に問題ないか、再度見直しましょう。

	表示チェックのタイミング	一口メモ
製造者	<input checked="" type="checkbox"/> データ入力時 <input checked="" type="checkbox"/> 使用原材料の変更時 <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">事前準備</div>	表示ラベルを作成する機械の誤作動が誤った表示に繋がってしまうこともあります。取扱説明書をよく読んで、定期的に保守点検を行いましょ。
	<input checked="" type="checkbox"/> 包装時（中身と外装が一致しているか） <input checked="" type="checkbox"/> ラベル印刷後（特に期限表示） <input checked="" type="checkbox"/> 出荷（品出し）準備 <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">当日作業</div> <p>【確認した内容を記録に残しましょう】 発行したラベルは作業日誌等の帳票に貼り、確認者名などを記録し、保管します。</p>	
販売者 ※ <sub>1</sub> （輸入者 ※ <sub>2</sub> ）	<input checked="" type="checkbox"/> 納品時の検品 <input checked="" type="checkbox"/> 店頭への品出し（陳列時・開店前） <input checked="" type="checkbox"/> 定期巡回時  ※1 ばら売りする際には個々の包装に表示ラベルが必要です ※2 輸入品には、邦文（日本語訳）の表示ラベルが必要です。	「期限表示が普段よりも長い日付になっている」「個別包装に表示が付いていない」等、不適切な状態であるにもかかわらず、検品や品出しの際に見落とし、販売に至るケースが見られます。

表示ラベルの確認作業も毎日実施していると、思い違いや他人任せとなり、形骸化しがちです。「声を出してチェックする」「複数人でチェックする」など基本的な作業を徹底し、誤った表示の食品を製造・販売しないようにしましょう。